

人・高齢者保健、地域保健、精神保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性、④かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性、⑤地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制などを説明できる。[U.専門性] 『CII.医学知識』『CV.地域医療への貢献』

- (8)「保健・医療・福祉・介護の制度」:①日本における社会保障制度と医療経済(国民医療費の収支と将来予測)、②医療保険、介護保険及び公費医療、③高齢者福祉と高齢者医療の特徴、④産業保健(労働基準法等の労働関連法規を含む)、⑤医療の質の確保(病院機能評価、国際標準化機構(International Organization for Standardization <ISO>)、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等)、⑥医師法、医療法等の医療関連法規、⑦医療関連法規に定められた医師の義務、⑧医療における費用対効果分析、⑨医療資源、医療サービス、診療報酬制度、⑩医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携、⑪感染症法・食品衛生法の概要と届出義務、⑫予防接種の意義と現状、⑬障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度などを説明できる。[U.専門性] 『CII.医学知識』『CV.地域医療への貢献』
- (9)「国際保健」:世界の保健・医療問題、国際保健・医療協力を列挙、説明できる。
[U.専門性][U.地域・国際性] 『CII.医学知識』『CVI.国際性』
- (10)「その他(演習)」:「疫学演習」では、疫学指標を計算し、その意味を説明でき、また、研究デザインや主要な疫学概念などを説明できる。「社会医学演習」では、グループの仲間と協力しながら、設定テーマについて情報収集・集約および考察し、学修成果をまとめて発表できる。自グループと他のグループの学修テーマについて、公衆衛生的な視点に立った自身の考えを述べることでできる。上記(1)～(9)に加えて、[U.自律性][U.社会性][U.コミュニケーションスキル][U.情報リテラシー][U.問題解決力] 『CI.プロフェッショナルリズム』『CIV.コミュニケーション能力』『CVII.科学的探究』

III 評価基準・評価方法・成績不服申立期間

- 「衛生学・公衆衛生学」の筆記試験の受験資格; 対面で実施の場合は出席票を用いて、また、Webで実施の場合はアクセス(参加及び退出)の履歴を用いて、出席を確認する。最終試験実施日までに当該科目の全時限数(最終試験の時限数を含む)の**3分の2以上の出席**のない学生の受験を認めない。
- 講義及び演習の出席に際しては、全ての科目に適用されるルール¹の遵守を求める。時間中の講義室への無秩序な出入り(入退室の繰り返し、出席カード配布直前の入室、同記入直後の退室など)、私語、携帯電話の着信音や通話、メールの作成・閲覧、講義(対面、Webの形式を問わず)の写真撮影・録画・録音などを禁止する。これらのルールに反した場合、当該講義などについて欠席扱いとし、さらに厳しい処分が下る可能性もある。
- 一連の講義及び演習の最後に、1回の筆記試験(最終試験)を実施する。出題範囲は、講義などで取り上げた内容に限定せず、後述の教科書に準じる参考図書に包含される公衆衛生学全般とする。試験の形式は、医師国家試験に準拠した選択問題を中心に、記述問題も含めて構成する。
- 社会医学演習は、発表抄録、発表会(グループ単位の発表及び質疑応答)、レポート(個人単位)を中心に、チューターとの連携や発表会での良質な質問をはじめとする積極性、グ

グループ内での協調性なども加味して評価する。発表会では、講座教員及び学生（当該グループを除く）全員が評価者として評価にあたる。発表会への出席およびレポートの提出を必須とする。発表会では、「全体の内容構成」「考察／結論の質」「スライド及び発表の仕方」について評価する。個人レポートでは、「学んだ感想（自分の考え）」の記述を重視して評価する。社会医学演習の進め方や評価に関する詳細は、別途に配布する社会医学演習要項で提示する。

- 講義及び演習にて配布（WebClass へのアップロードを含む）する学習資料を個人の学習に限って使用することを許可する。配布資料に関して、これを逸脱するあらゆる行為は違反と見なし、厳しい処分が下りうる。
- 最終評価は、最終試験 75%、社会医学演習 25%の割合で重みづけした 100 点満点にて、60 点以上を合格（単位認定）とする。
- 成績不服申立期間は、成績発表後の 1 週間以内とする。

IV コア・カリキュラムでの位置づけ

「I 教育目標・概要」、「II 達成目標」に記したように、本科目の講義及び演習は、コア・カリキュラム B 社会と医学・医療；B-1 集団に対する医療 1)～9)の学修のねらい及び学修目標に対応している。

V 参考図書

●教科書に準じるもの（教科書に指定しないが、大いに学修の参考にすべき書籍）

書名	著者・编者など	出版社
シンプル衛生公衆衛生学	鈴木庄亮 (監修)、 辻一郎、小山洋 (編集)	南江堂
NEW 予防医学・公衆衛生学 (改訂第4版)	岸玲子 (監修)、 小泉昭夫、馬場園明、 今中雄一、武林亨 (編集)	南江堂

●その他（疫学についてもう少し深く学びたい場合の初級～中級の書籍）

書名	著者・编者など	出版社
はじめて学ぶやさしい疫学 (改訂第3版) : 日本疫学会標準テキスト	日本疫学会 (監修)	南江堂
基礎から学ぶ楽しい疫学 (第4版)	中村好一 (著)	医学書院

●その他（研究を意識して疫学についてかなり深く学びたい場合の上級の書籍）

書名	著者・编者など	出版社
疫学—医学的研究と実践のサイエンス—	Leon Gordis (著) 木原正博、木原雅子、 加治正行 (翻訳)	メディカル サイエンス インターナショナル
医学的研究のデザイン—研究の質を高める 疫学的アプローチ (第4版)	Stephen B Hulley、他 (著) 木原雅子、木原正博 (翻訳)	メディカル サイエンス インターナショナル
臨床疫学 EBM 実践のための必須知識 (第 3版)	Robert H Fletcher、他 (著) 福井次矢 (翻訳)	メディカル サイエンス インターナショナル

VI. 講義日程及び講義項目等

4年次1学期 〔【注意】暫定版である。WebClassの最新版で確認されたし。〕

臨床講義棟1F小講義室（【注意】6月14日（火）及び7月7日（木）は異なる）

年次 学期	月日	時限	講義内容	コアカリ(H28年度改訂版)の位置づけ	担当 教員
4年次 1学期	令和4年 4月14日 (木)	4	科目全体オリエンテーション、 衛生学・公衆衛生学序論（公衆 衛生学を学ぶ意義など）	B-1 集団に対する医療 を中心に衛生学、公衆 衛生学全般	中村
		5			
		6	社会医学演習オリエンテーショ ン	B-1 集団に対する医療 を中心に衛生学、公衆 衛生学全般	
	4月19日 (火)	4	医療関連法規（医師法、医療法 など）	B-1-7) 地域医療・地域 保健、B-1-8) 保健・医 療・福祉・介護の制度	中村
		5	疫学総論・疫学指標	B-1-3) 根拠に基づいた 医療<EBM>、B-1-4) 疫 学と予防医学	中村
		6			
	4月21日 (木)	4	疫学研究デザイン（観察研究、 介入研究）	B-1-3) 根拠に基づいた 医療<EBM>、B-1-4) 疫 学と予防医学	
		5			
		6	疫学研究結果の解釈（関連観察 から因果推論へ）	B-1-3) 根拠に基づいた 医療<EBM>、B-1-4) 疫 学と予防医学	中村
	4月26日 (火)	4	臨床疫学、根拠に基づく医療	B-1-3) 根拠に基づいた 医療<EBM>、B-1-4) 疫 学と予防医学	中村
		5			
		6	社会医学演習1	B-1 集団に対する医療 を中心に衛生学、公衆 衛生学全般	
	4月28日 (木)	4	疫学演習1,2,3 ※配布する課題の自主学習	B-1-3) 根拠に基づいた 医療<EBM>、B-1-4) 疫 学と予防医学	中村
		5			
		6			

年次 学期	月日	時限	講義内容	コアカリ(H28年度改訂版) の位置づけ	担当 教員
4年次 1学期	令和4年 5月10日 (火)	4	疫学研究に必要な統計の基礎、 疫学演習の解説	B-1-1) 統計の基礎、B- 1-2) 統計手法の適用、 B-1-3) 根拠に基づいた 医療<EBM>、B-1-4) 疫学と予防医学	中村
		5			
		6	社会医学演習 2	B-1-3) 根拠に基づいた 医療<EBM>、B-1-4) 疫 学と予防医学	中村、 演習指導 講師*
	5月17日 (火)	4	児童虐待	B-1-6) 社会・環境と健 康、B-1-7) 地域医療・ 地域保健、B-1-8) 保 健・医療・福祉・介護 の制度	本村真*
		5	社会医学演習 3,4	B-1 集団に対する医療 を中心に衛生学、公衆 衛生学全般	中村、 演習指導 講師*
		6			
	5月19日 (木)	4	地域保健総論	B-1-7) 地域医療・地域 保健、B-1-8) 保健・医 療・福祉・介護の制度	中村
		5	生活習慣と健康	B-1-4) 疫学と予防医 学、B-1-5) 生活習慣と リスク、B-1-6) 社会・ 環境と健康	中村
		6	社会医学演習 5	B-1 集団に対する医療 を中心に衛生学、公衆 衛生学全般	中村、 演習指導 講師*
	5月24日 (火)	4	社会保障、医療安全	B-1-6) 社会・環境と健 康、B-1-7) 地域医療・ 地域保健、B-1-8) 保 健・医療・福祉・介護 の制度	中村
		5	社会医学演習 6,7	B-1 集団に対する医療 を中心に衛生学、公衆 衛生学全般	中村、 演習指導 講師*
		6			
	5月26日 (木)	4	グローバルヘルスと感染症危機 管理	B-1-4) 疫学と予防医 学、B-1-6) 社会・環境 と健康、B-1-9) 国際保 健	中島一敏 *
		5	新型コロナウイルス感染症に対 する危機管理	B-1-4) 疫学と予防医 学、B-1-6) 社会・環境 と健康、B-1-9) 国際保 健	中島一敏 *
		6	社会医学演習 8	B-1 集団に対する医療 を中心に衛生学、公衆 衛生学全般	中村、 演習指導 講師*

年次 学期	月日	時限	講義内容	コアカリ(H28年度改訂版) の位置づけ	担当 教員
4年次 1学期	令和4年 5月31日 (火)	4	世界の健康格差	B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-9) 国際保健	小林潤*
		5	社会医学演習 9,10	B-1 集団に対する医療を中心に衛生学、公衆衛生学全般	中村、 演習指導 講師*
		6			
	6月7日 (火)	4	社会医学演習 11,12,13	B-1 集団に対する医療を中心に衛生学、公衆衛生学全般	中村、 演習指導 講師*
		5			
		6			
	6月9日 (木)	4	食品衛生学	B-1-4) 疫学と予防医学、B-1-5) 生活習慣とリスク、B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-7) 地域医療・地域保健	伊藤早苗*
		5	社会医学演習 14,15	B-1 集団に対する医療を中心に衛生学、公衆衛生学全般	中村、 演習指導 講師*
		6			
	6月14日 (火)	1	社会医学演習発表会 (午前) <u>【場所：臨床講義棟 2F 大講義室】</u>	B-1 集団に対する医療を中心に衛生学、公衆衛生学全般	中村、 演習指導 講師*
		2			
		3			
		4	社会医学演習発表会 (午後) <u>【場所：臨床講義棟 2F 大講義室】</u>	B-1 集団に対する医療を中心に衛生学、公衆衛生学全般	中村、 演習指導 講師*
		5			
		6			

年次 学期	月日	時限	講義内容	コアカリ(H28年度改訂版) の位置づけ	担当 教員
4年次 1学期	令和4年 6月16日 (木)	4	環境保健総論	B-1-4) 疫学と予防医学、B-1-6) 社会・環境と健康	中村
		5	学校保健および学校医の役割	B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度	中村
		6	社会医学演習まとめ(レポート作成)	B-1 集団に対する医療を中心に衛生学、公衆衛生学全般	中村
	6月21日 (火)	4	高齢者保健福祉	B-1-4) 疫学と予防医学、B-1-5) 生活習慣とリスク、B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度	中村
		5	産業医の役割	B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度	崎間敦*
		6	労働衛生行政と産業保健	B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度	平良喜作*
	6月28日 (火)	4	環境保健各論(環境衛生)	B-1-4) 疫学と予防医学、B-1-6) 社会・環境と健康	友寄喜貴*
		5	沖縄県の健康長寿復活プロジェクトについて	B-1-5) 生活習慣とリスク、B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-7) 地域医療・地域保健	糸数公*
		6	生活習慣病予防・健康増進の施策	B-1-4) 疫学と予防医学、B-1-5) 生活習慣とリスク、B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-7) 地域医療・地域保健	中村
	6月30日 (木)	4	母子保健	B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-7) 地域医療・地域保健、B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度	當山紀子*
		5	精神保健福祉総論	B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-7) 地域医療・地域保健、B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度	西村直之*
		6	精神保健福祉各論(パブリック・ヘルスと依存・嗜好)	B-1-5) 生活習慣とリスク、B-1-6) 社会・環境と健康、B-1-7) 地域医療・地域保健	西村直之*

年次 学期	月日	時限	講義内容	コアカリ(H28年度改訂版) の位置づけ	担当 教員	
4年次 1学期	令和4年 7月5日 (火)	4	自主学習			
		5	自主学習			
		6	自主学習			
	7月7日 (木)	1	試験 【場所・時間は未定】			中村
		2				
		3				

令和4年3月3日現在

注1：* 非常勤講師

注2：講義及び演習の形式（対面、Web）、日程、内容や担当教員は変更がありうる。その場合、Web Class 又は Web メールで通知する。

<連絡先>

本科目に関する質問・要望などは科目責任者の中村幸志あてに連絡してほしい。面会希望の場合、できるだけ事前に予約をお願いしたい。双方の都合が合えば、以下のオフィスアワーの限りではない。

オフィスアワー：火・木曜日 16時30分～17時30分

衛生学・公衆衛生学講座メールアドレス：epm@w3.u-ryukyu.ac.jp

救急車同乗実習

(※令和4年度は学士学生向けに開講)

世話人 救急医学講座 教授 梅村武寛
救急部 特命教授 寺田泰蔵

(1) 教育目標・概要

現在の「救急医療」の現場を体験し、医学を学ぶことの重要性に自ら気づき、学習の動機を得るために、那覇市内の 5 消防署から出動する救急車に各自が同乗し、救急活動の実際を体験的に知ってもらおう。

(2) 担当者

梅村武寛(救急医学講座)、寺田泰蔵 (救急部)

(3) コアカリキュラムでの位置づけ

A 基本事項

3 コミュニケーションとチーム医療

- (1) コミュニケーション
- (3) チーム医療

4 課題探求・解決と学習の在り方

- (1)課題探求・解決能力
- (2)学習の在り方
- (3)生涯学習への準備

(4) 日程

期間:令和4年4月23日(土)～令和4年7月31日(日)

時間:土日それぞれ9:00～17:00の計16時間

備考:上記期間に各自1回。具体的な日程は後日調整。

(5) 評価方法

実習への出席および救急車同乗実習レポートにて評価

(6) テキストの有無、参考図書

なし

実習内容

【当科の実習開始までに準備すること】

特になし

【集合場所、集合時間、持参するもの】

集合場所：地域・国際医療部カンファレンス室

集合時間：実習初日 13 時 30 分

持参するもの：筆記用具

【到達目標】

1. プライマリ・ケアを体験する。
 - 病歴・身体診察を重視した診断推論を組み立てる、又はたどる。
 - 家族や地域といった視点を持ち、心理・社会的背景により配慮した診療に可能な範囲で参加する。
 - 患者や家族に不安感や不快感を与えないように配慮する。
2. 病診連携・病病連携を体験する。
3. 地域の在宅医療を体験する。
 - 医療の社会的側面（医療保険、公費負担医療、介護保険、社会福祉施設、在宅医療および介護など）の重要性を述べるができる。
4. 多職種連携のチーム医療を体験する。
 - 多職種連携の重要性を述べるができる。
5. 地域における疾病予防・健康維持増進の活動を体験する。
 - 地域保健および健康増進の重要性を述べるができる。

【実習内容】

地域の診療所や大学病院総合診療外来実習および訪問診療への同行を通して、在宅医療を含む地域医療／プライマリ・ケアの実際を体験する。

【評価】 指導医の評価（指導医による観察 20%、実習レポート 80%）

【注意事項】

1. 実習の目的をしっかり持って臨むこと
2. 実習医療機関の指導者の指示に従うこと
3. 実習医療機関の業務に迷惑がかからないように心がけること
4. 服装、身だしなみに注意を払い、患者に不快な印象を与えないように配慮すること
5. 挨拶、時間の厳守など、社会人としてのマナーを身につけておくこと
6. やむを得ない理由で遅刻・早退・休む場合は必ず指導者（先方）に連絡し許可を得ること
7. 実習中にトラブルあるいは不慮の事故があった場合は必ず地域・国際医療部へ連絡すること

【日程表】

		月	火	水	木	金
第1週	午前	救急				地域の診療所
	午後	13:30～ 地域医療実習 オリエンテーション	救急	救急	救急	での実習/ 総合診療外来 実習
第2週	午前	地域の診療所で の実習/総合診療 外来実習	地域の診療所 での実習/ 総合診療外来 実習	地域の診療所 での実習/ 総合診療外来 実習	救急	救急
	午後					16:00-17:00 地域医療 実習振り返り

地域医療臨床実習評価

学生氏名： _____

実習日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

実習施設： _____

評価者： _____

A) 実習した学生についてお聞きします。 あてはまるところに○をつけてください。

<評価基準>

3	2	1	NA
学生とは思えない程 優れている	学生として 十分なレベル	今後更なる 努力が必要	十分な情報がなく 評価できない

- | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|----|
| 1. 患者や家族に不安感や不快感を与えないように配慮している …………… | 3 | 2 | 1 | NA |
| 2. 周囲のスタッフと良好なコミュニケーションがとれている …………… | 3 | 2 | 1 | NA |
| 3. 積極的に実習に臨んでいる …………… | 3 | 2 | 1 | NA |

B) 総合評価

- 学生とは思えない程
優れている 学生として
十分なレベル 今後更なる
努力が必要 あまりに不十分で
実習したと認められない

C) その他のコメント（気付いた点があれば記入してください）

地域医療臨床実習自己評価票

学年: ___年生 学籍番号: _____ 氏名: _____

実習期間: ___年 ___月 ___日 ~ ___年 ___月 ___日 (記載日: ___年 ___月 ___日)

実習施設・内容: _____

A) 以下の項目についてどれ位自信を持って行えるようになりましたか？

あてはまるところに○をつけて下さい。

	できる	ほぼ できる	できるが 不十分	全く できない
1. 病歴・身体診察を重視した診断推論を組み立てることができる……	4	3	2	1
2. 患者や家族に不安感や不快感を与えないように配慮する……	4	3	2	1
3. 医療の社会的側面（医療保険、公費負担医療、介護保険、社会福祉……施設、在宅医療および介護）の重要性を述べる……	4	3	2	1
4. 多職種連携の重要性を述べる……	4	3	2	1
5. 地域保健および健康増進の重要性を述べる……	4	3	2	1

B) この実習で特にどのようなことを学び、経験しましたか？

C) この実習を始めるときに立てた実習目標（学びたいこと、経験したいこと）に到達できましたか？

あてはまるものに○をつけて下さい。

十分以上にかなり 到達できた	半分くらい 到達できた	到達できた	あまり 到達できなかった	全く 到達できなかった
5	4	3	2	1

到達できた／できなかった理由:

地域医療臨床実習（ポスト・アンケート）

学年：_____ 名前：_____ （ 1. 男性 2. 女性 ）

（記載日： _____ 年 _____ 月 _____ 日）

A. 以下の設問について、当てはまるものに○をつけて下さい。

（1）地域医療について興味がありますか？ 該当するものに○をつけて下さい。

1. 興味がある 2. どちらかという興味がある 3. どちらかという興味がない 4. 興味がない

（2）卒後の進路を問わず、全ての医学生が地域医療実習を受ける必要があると思いますか？

非常に必要	どちらかとい えば必要	どちらかとい えば必要ない	全く必要ない
4	3	2	1

（3）地域医療臨床実習について、気付いた点や感想（よかった点・改善すべき点）を記入して下さい。

令和4年度

離島・へき地診療所におけるクリニカル・クラークシップについて

【目的】

地域医療に関心のある学生が、参加型臨床実習を離島やへき地診療所で経験することで早期から離島やへき地における地域医療への理解を深め、地域医療に対するモチベーションを高めることを目的としている。さらに長期的に地域医療を担っていく医療人の育成を目指す。

※ 具体的な実習目標

- ① 地域住民と密着した離島やへき地における地域医療の現状を学ぶ。
- ② 患者及び地域住民とコミュニケーションをとることができる。
- ③ 病歴と身体所見等の情報を統合して、問題の抽出、鑑別診断、治療計画を提示できる。
- ④ 症例を適切に要約し、指導医にプレゼンテーションを行うことができる。

【日程】

- ・クール6前半 6月 6日(月)～6月10日(金) or 6月13日～6月17日も可
- ・クール6後半 6月20日(月)～6月24日(金) or 6月27日～7月 1日も可
- ・クール7前半 7月 4日(月)～7月 8日(金) or 7月11日～7月15日も可
- ・クール7後半 7月25日(月)～7月29日(金) or 7月19日～7月22日も可

【施設】

県内の離島・へき地診療所 (学生8人)

【担当者】

医学教育企画室(臨床実習支援部門)

専任教員：名嘉地 めぐみ

事務担当者：比嘉 みさき

【実習中および宿泊先での留意事項】

<実習先での留意事項>

- 1) 実習施設スタッフの指示に従うこと。
- 2) 実習施設スタッフの仕事の妨げにならないように注意すること。
- 3) 学生として節度ある態度で実習に励むこと。
- 4) 挨拶、時間の厳守などの基本的なマナーを守ること。
- 5) 良好なコミュニケーションの構築に努めること。
- 6) 患者さんのプライバシーを尊重すること。
- 7) 相手に不快感を与えるような容姿は控え、実習中は実習学生であることがわかるように名札を付け清潔な白衣を着用すること。
- 8) 実習施設内での携帯電話の使用については、許可された場所を確認し行うこと。
- 9) 自身のワクチン接種・抗体価を把握しておくこと。(実習中確認されることがあります)

- 10) その他、詳細については実習先の指示に従うこと。
- 11) トラブル、事故やケガをした場合は、直ちに事務担当者へ連絡すること。
- 12) 体調が悪い（発熱等）場合は、無理をせずに休むこと。

＜宿泊先での留意事項＞

- 1) 学生として節度ある態度を心がけること。
- 2) 他の宿泊者の迷惑にならないように、心がけること。
- 3) 火気の取り扱いに十分に気をつけること。
- 4) 実習に差し支えないように、規則正しい生活をする事。
- 5) 貴重品管理は各自で責任を持つこと。
- 6) 部屋を開ける、又は退室の際には施錠・火気の始末・簡単な掃除・ゴミの始末等を行うこと。
- 7) 喫煙に関しては、宿舎の決まりに従うこと。
- 8) 飲酒に関しては、原則として禁止とする。

4. 宿泊先について

◆今後調整

5. 渡航について

◆今後調整

6. 交通費・宿泊費等の注意事項について

航空券代、乗船券代、宿泊費を大学にて負担します。現地での食事代、交通費は自己負担となります。

＜航空チケット・乗船チケット、宿泊施設のキャンセルについて＞

原則として、チケットのキャンセル・変更はできません。※キャンセル料は自己負担となります。また、自己都合による日時の変更に関してのチケット代金は全額自己負担です。ただし、やむを得ない事情（忌引き、事故等）が生じた場合は、直ちに事務担当へご連絡ください。

＜航空チケット・乗船チケットおよび回収について＞

航空チケットの往復分の搭乗券、乗船チケットの往復分の半券は、実習終了後速やかに提出して下さい。紛失した場合、自己負担となりますので、注意ください。

7. 台風時の取扱いについて

実習出発前の変更について

＜出発前日まで＞

○実習出発前・沖縄本島へ帰島前には、台風の進路により緊急に予定が変更になる可能性があります。

実習3日前は特に、携帯の電源を入れ、連絡が取れる状態にしておいてください。

※台風発生後、進路によってはチケットの変更が生じる可能性があります。その際、事務担当者より連絡します。

＜空港・港にて＞

○空港および港で便遅延や欠航があった場合、事務担当者へ連絡してください。

勤務時間（8:30～17:15）外の場合は、緊急連絡先へ連絡してください。

※欠航の場合は帰宅、遅延便の場合は空港・港にて待機してください。

沖縄本島へ帰島・帰宅時の変更について

〈実習中や宿泊先出発前〉

○実習中は、実習先診療所の指示に従ってください。宿泊先待機の場合は携帯の電源を必ず入れ（なるべく電波の届くところで待機）、連絡が取れる状態にしてください。

※台風発生後の進路によっては、実習を早めに切り上げる、または延泊の可能性もあります。

（延泊の場合、実習で利用した宿泊先を利用してください。）

〈空港・港にて〉

○遅延や欠航になった場合、事務担当者へ連絡してください。

※欠航ならそのまま宿泊先での延泊を命じますが、遅延の場合はキャンセル待ちで空港、港にて待機してください。

【連絡先】 琉球大学医学部 医学教育企画室

勤務時間（8：30～17：15）

TEL：098-895-1214（直通）

FAX：098-895-1503

E-MAIL：igakukyouiku@acs.u-ryukyu.ac.jp

【緊急時連絡先】 勤務時間外の場合

080-8389-0488

8. 提出物について

【実習前】

- クリニカル・クラークシップ目標シート →web-class
- M6 離島診療所クラークシップ（プレアンケート） →web-class

【実習中】

- 日々の自己評価シート →web-class あるいは紙媒体
- 患者チェックリスト →web-class あるいは紙媒体

【実習後】

- 目標シートの振り返り →web-class
- 実習レポート・感想（実習先へのお礼状を兼ねる） →web-class
- M6 離島診療所クラークシップ（ポストアンケート） →web-class

- 航空チケットの搭乗券（往復分）

※航空チケットの搭乗券を扮した場合は、空港カウンターにて「搭乗証明書」を発行してもらってください。→事務へ

- 乗船券の半券（往復分）

※半券が回収されるようであれば、港の受付窓口で「乗船証明証」を発行してもらってください。→事務へ

☆事後学習日程（ / ）⇒オリエンテーション時に日程調整。

保医第397号
令和4年8月22日

厚生労働省医政局長 殿

沖縄県保健医療部長 糸数 公



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和4年8月10日付け4文科高第627号、医政発0810第4号に基づき、下記のとおり、令和5年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

12名

・琉球大学医学部における地域枠：12名

担 当：沖縄県保健医療部医療政策課
医療対策班（担当：野原、大城）
電話番号：098-866-2111

教育課程等の概要															
(医学部医学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基盤教育科目	外来患者付添い実習	1・1~2学期	1							1	1			
		シミュレーション演習	1前	2				○	○	2	1	1	3		
		救急車同乗実習	4前	1						1					
		医学概論B	1前	1			○		○	1	1	1			
		体験学習	2・2学期	1						1	1				
		医学外国語	2・1学期	1			○		○	12	10	2			
		離島地域病院実習	3・2~3学期	1						1	1				
		東洋医学概説	4・2~3学期	1			○		○	2		1			
		小計（8科目）	—	—	9					—	21	15	5	3	
専門許育科目	分子細胞生物学	1前	(122)			○			6	5		6			
	人体の構造と機能	1通	(105)			○		○	4	4		4			
	解剖学実習・骨学実習	1通	(99)			○		○	1	1		1			
	医療情報学Ⅰ	1後	(5)			○			1		2				
	組織学実習	1通	(45)			○		○	1	1		2			
	神経科学	2・1学期	(54)			○		○	4	3	1	3			
	微生物・免疫学	2・1~2学期	(117)			○			3	4	1	3			
	発生再生医学	2・1学期	(18)			○		○	4	2	1	3			
	遺伝医学	2・1学期	(18)			○		○	1	1		2			
	病理学Ⅰ	2・1~2学期	(44)			○		○	1	1		1			
	病理学Ⅱ	2・1~2学期	(44)			○		○	1			1			
	薬理学	2・1~2学期	(96)			○		○	1	1		1			
	症候とその評価法	2・2~3学期	(14)			○			1		1				
	精神医学系	2・2~3学期	(20)			○			1	1		7			
	呼吸器・胸壁・縦隔系	2・2~3学期	(21)			○			2	3	2	3			
	腎・泌尿器系	2・2~3学期	(25)			○			3	2		5			
	循環器系	2・2~3学期	(34)			○			2	2	4	5			
	神経医学系	2・2~3学期	(20)			○			1		2	2			
	代謝学系	2・2~3学期	(15)			○			1	1	1	1			
	感染症系	2・2学期	(18)			○			1	3	3	4			
	臨床薬理学	2・3学期	(11)			○			1	1		1			
	地域医療/プライマリ・ケア	2・3学期	(9)			○			1		2				
	医療情報学Ⅱ	2・3学期	(5)			○			1		2				
	治療学系	3・2学期	(13)			○			1	1					
	歯・顎・口腔系	3・1学期	(12)			○			1	1	2	5			
	皮膚結合組織系	3・1学期	(24)			○			1	1	1	6			
	内分泌系	3・1学期	(23)			○			1		1	3			
	麻酔医学系	3・1学期	(24)			○			1	1	1	1			
	沖縄特色科目	3・1学期	(12)			○			1						
	消化器系	3・1学期	(26)			○			2	1	2	9			
	女性生殖器系	3・1学期	(34)			○			2	1	2	9			
	運動器系	3・1学期	(25)			○			1	1	3	5			
	小児医学系	3・1学期	(28)			○			2	2	1	6			
感覚器系（眼）	3・1~2学期	(14)			○			1			8				
放射線医学系	3・2学期	(15)			○			1	1	1	6				
救急医療系	3・2学期	(16)			○			2	2	2					
血液学系	3・2学期	(15)			○			1	1	1	3				
膠原病・リウマチ病学	3・2学期	(16)			○			1	1	2	2				

兼1
兼1

感覚器系（耳）	3・2学期	(25)			○			2	1	1	6	
医科学研究	3・2~3学期	(385)					○	40	2	1		
法医学・医事法制	4・1学期	(28)			○		○	1			3	
衛生学・公衆衛生学	4・1学期	(58)			○		○	1				
病理総合学習	4・1学期	(33)					○	1				
TBLチュートリアル	4・1学期	(90)				○		1	1			
BPE	4・2学期	(32)				○		1	1			
医療学総論（特別演習）	4・2学期	(25)				○		1		1		
総合講義	5・3学期	(20)			○			1		1		
臨床実習	4~6通	(2880)					○	1		1		
小計（48科目）	—	(4832)			—			112	55	46	127	
合計（56科目）	—				—							
学位又は称号	学士(医学)	学位又は学科の分野	医学関係									
卒業要件及び履修方法								授業期間等				
本学に6年以上在学し、共通教育科目を22単位、専門基礎教育科目を3単位、基盤教育科目を9単位修得並びに専門教育科目を4,832時間履修し、かつ、総合試験及び臨床実習後OSCEに合格しなければならない。								1学年の学期区分		3期		
								1学期の授業期間		15、10、5週		
								1時限の授業時間		60分		

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。